



## 総務委員会

総務委員長 黒田正孝  
(西村山地区)



総務委員会に係わって8年目になります。当委員会担当業務のひとつに「会員増強」があり、機会を借りて色々と努力をしていますが、思うようになりません。逆に減少が進み現在200社を切ってしまいました。そして、社会情勢からすると更なる減少が予想されます。今となっては、現会員数をどう維持して行くのが重大な「委員会活動」になり、社会情勢もさることながら、皆さんが求める「魅力ある会」にするには何が必要か模索中です。

### もっと会員の交流を

会員が集うのは年1回の総会、年2回の地区研修の計3回の機会しかありません。会員数250社のうち、総会の出席率は25%、地区研修で平均60%。数字を見る限り「魅力ある会」ととらえて頂いているとは思われません。また、会の運営に欠かせないものの1つに仲間意識があると考えています。それには「交流」が必要であり3回の会合でいいのか、もっと増やすのが問題です。

多忙な会員諸兄に、増やすことが難しいとすれば「後期地区研修」を足元から固める意味で内容を充実

させていくのはどうでしょう。研修を短くして、いろんな事を本音で話しあってみる。協会へのこと、国へのこと、制度への不満……。酒を飲みながらでもいいのでは。次は隣の地区と合同で、と広げて行く。会員交流の手段のひとつでは、と思っております。

### 考えてみよう

事務所協会が法定団体になって、やらねばならぬ事業に「苦情処理」があります。協会が設計に対する苦情処理に当たり、場合によっては罰則を課する事があります。この対象が協会加入の事務所だけです。これでいいんですかね。「そうならないように気をつけよ」という事なんですよね。新規入会者の足かせにならないければ良いのですが。

会員拡大を含めた現会員維持にどう対処するか、23年度総会運営をどうするか、当面は課題に動く「ガンバル委員会」です。会員の皆様のご協力をお願いします。

## 業務委員会

業務委員長 永井毅  
(山形地区)



この度、業務委員長の大役を仰せつかりました。若輩微力ながら、本会の発展のために鋭意努力したいと考えておりますので、任期満了まで宜しくお願いいたします。

本委員会は、協会員の技術の向上に資する講習会・地区研修会の開催と、建築士事務所の地域貢献としての建築士事務所キャンペーンが主な業務になりますが、例年の成功事例を参考に、遺漏なく事業が遂行できるよう邁進したいと考えております。

本委員会が主催する講習会・地区研修会は、同一業界にありながらも、普段の業務上はあまり接する機会のない諸先生方との交流の機会であり、また、発達する各種技術を、肌で感じる事が出来る有意義な機会であることから、会員各位並びに、賛助会員の積極的な参加を促すような内容の精査、日程の調整を行い、より密度の高い勉強会となるよう努力いたします。

私共のクライアントとなる一般の方々の建築に対する見識、要求が日々高まる中で、建築士事務所に求められる技能はより高度化しているといえます。日々培った技術と、それに裏打ちされた感性を、社会に還元できるよう、キャンペーンの機会をうまく活用したいと考えております。

不況が叫ばれる昨今、我々を取り巻く環境は日を追うごとに厳しさを増しているように感じられます。これを次のステップへの好機と捉え、会員の方々、賛助会員の方々と連携を密にし、この難局を乗り越えることが、社会資本の充実を職能とする私共の業界で生きる者の術と考えます。協会の一層の充実と、会員・賛助会員企業の発展へ、皆様のご協力をお願いいたします。

## 情報・広報委員会

今年度も情報・広報委員長をおおせつかりました。ただいまは、1月末発刊の「たより48号」に向けて、委員会員の協力により進めております。

情報・広報委員会は、会報「たより」がメイン事業なので、会員みなさんの、寄稿および投稿などの最新の情報なしでは成り立ちませんので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。特集で取り上げてみたい記事がありましたら、事務局まで、メールまたは

情報・広報委員長 小 関 寛  
(米沢地区)



F A Xでご一報お願いします。

会報は会員皆さんの、よりどころになるように。また事務所協会の取り組みなどをおりませながら、誌面を構成していきたいと考えております。

ホームページにつきましては、さらなる充実を図ってまいりたいと考えておりますのでぜひホームページの活用をお願いします。

是非積極的な寄稿、投稿を重ねてお願い申し上げます。

## 技術委員会

今年度から技術委員長に就任して、間もなく、何を書いて良いかわかりません。前任の金内技術委員長の活動内容を参考にし務めさせていただきます。

今年度の活動計画は、前年と同様に、建築設計監理に関する研究・情報の媒介と、見学会、技術研修会の企画運営と、建築士事務所キャンペーン事業の支援を目標として計画してまいります。

建築設計監理に関する研究・情報の媒介等は、建築基準法の改正が施行される事になり、業務・広報委員会と協力して、様々な情報や研修会等の案内情報を、建築士事務所協会のホームページにて伝えてきました。

技術委員長 安 島 誠 一  
(酒田地区)



建築士事務所キャンペーン事業は、8月29日にビックウイングで耐震診断の無料相談を、業務委員会のご協力で行わせていただきました。

又、見学会は23年3月中旬の春先に実施したいと計画中です。第一候補として山形大学工学部百周年記念会館を予定しています。

場所は米沢市となりますので、庄内地区や遠方の方々からも多数の参加を希望しています。夜は近くの温泉に泊まり会員の親睦を深めたいと思っています。

今後とも会員皆様の協力をよろしくお願いします。

## 耐震委員会

本年度は12月1日現在135件の判定依頼書が届いています。昨年度の異常に多かった時と比較して、判定委員会はスムーズに進行しているようです。昨年に比べ「出来そうに無いため、来月をお願いします」という事が少ないと思います。本年度は6月から月平均2.5回の割合で開催しています。7月、9月、11月、1月が月3回、その他の月は月2回開催しています。又、前年度と変わった事が2つあります。1つは判定委員会の先生が、西脇先生から三辻先生に代わりましたが、和泉先生、川股先生、前田先生は変わりありません。三辻先生は地盤が専門で判定委員会では他の先生方より時々地質等の意見を求められています。

もう1つは判定委員会の開催場所があこや会館から、

耐震委員長 齋 藤 丈 延  
(山形地区)



事務所協会のある県庁向かいの「自治会館」に10月より移動しました。県庁の南側にある外装は焦茶色タイル貼り建物の3階です。

判定委員会の日程、ワーキング担当の決定は昨年8月より酒田の安島誠一さんをお願いして居ります。毎回、事前に安島さんより耐震診断を行う事務所に電話で進行状況等の問い合わせがあると思います。毎回で大変な仕事です。皆様方にはご協力宜しくお願いします。

最後に、お願いですが、耐震診断作業を行う方に同じような棟が複数ある場合は、安島さんより電話での問い合わせ時に、同じような棟が複数ある事を伝えて下さい。判定委員会の時間の割り振りに影響しますので、お願いします。